

# 平成 30 年 茨城大学五浦美術文化研究所主催のイベント

## ① 「岡倉天心セミナー vol.4」

日時：平成 30 年 7 月 14 日(土) 午後 1 時～3 時

場所：茨城大学図書館(水戸市文京 2-1-1) 入場無料

講師：藤原貞朗・小泉晋弥・清水恵美子

『岡倉天心 五浦から世界へ』(思文閣出版)の刊行を記念して、五浦と「世界」の結びつきについて所員が講演とディスカッションをします。

岡倉が晩年を過ごした五浦と六角堂周辺の景観は当時から現在にいたるまでバルビゾン(フランス)、シャンテニケタン(インド)、中国の文人庭園、グリーンエイカー(USA)など様々な土地と比較されてきました。

なぜ比較されるのか、本当に似ているのか、岡倉の思いは実際のところどこにあったのか。比較を通じて、五浦の地の魅力と岡倉の思想を明らかにします。



日時は未定ですが、11 月にも茨城大学図書館において、以下の催しものを実施いたします。

詳しくは、7 月以降にお問い合わせください。

### ○ 五浦美術文化研究所所蔵作品「天心の遺産」展

日時：平成 30 年 11 月 1～22 日(予定)

場所：茨城大学図書館 1 階展示室(入場無料)

### ○ 「岡倉天心セミナー vol.5」

日時：平成 30 年 11 月(日時未定)

場所：茨城大学図書館(水戸市文京 2-1-1) 入場無料

講師：小林英美(五浦美術文化研究所所員)

連絡先(お問い合わせ)：茨城大学社会連携センター事業推進課

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 Tel : 029-228-8425 / Fax : 029-228-8089

Email : 6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp

## ② 観月会 2018

岡倉天心(覚三)が、飛田周山の案内で五浦に土地を求めたのは1903(明治36)年の5月頃のことでした。天心はこの五浦の地をいたく気に入り、2年後には六角堂を構え、ここを拠点としてボストン美術館勤務などの国際的な活躍をしました。1906(明治39)年には日本美術院を五浦に移し、各界の名士を招待して「仲秋観月会」を開催しました。「観月会 2018」は、この催しを偲んで開催するものです。

主催:茨城大学五浦美術文化研究所、茨城県天心記念五浦美術館、五浦日本美術院岡倉天心偉績顕彰会  
後援(申請中):北茨城市、公益財団法人日本ナショナルトラスト 協力:公益財団法人日本美術院

### 「五浦日本画塾」

日時: 10月6日(土) 10:00~16:30【予定】

場所: 茨城県天心記念五浦美術館講座室

講師: 日本美術院推薦による日本画家を講師としてお迎えする予定

大観、観山、春草、武山が日本画改革に挑んだ地で、次世代を担う大学生(院生)・高校生を対象として、日本画の魅力に触れていただく講座を開催いたします。

◎先着20名:参加費1,000円(昼食代・保険料含む)

### 「六角堂展: 西成田洋子展」

日時: 10月13日(土)~11月4日(日)

場所: 六角堂、天心邸

水戸市在住の現代美術家西成田洋子は、日常品を素材とする立体表現で独自の境地を切り開いてきた。本展では、日常生活を芸術に転換する観点から、天心のヴィジョンの現代的表現を展開する。◎五浦美術文化研究所入場料:300円(中学生以下無料)

### 「講演会 高橋健三と岡倉天心」

日時: 11月3日(土)

場所: 茨城県天心記念五浦美術館講堂、入場無料

講師: 依田徹(遠山記念館学芸課長)

『國華』創刊に重要な役割を果たした天心と高橋健三の関係を探る。

### 「天心邸茶会」 [場所]天心邸

10月21日(日)亭主:鈴木宗博(裏千家)

◎先着50名:参加費500円(別途、五浦美術文化研究所入場料300円が必要です。)